



【ご挨拶】 衆議院議員と町長・町議のトリプル選挙も終わり、国や町のリーダーが確定し、ようやく落ち着きを取り戻してきました。全国的にコロナ感染者の増加も第5波が収まり、低い状態を維持してます。これから冬に向けて第6波も懸念されますが、ワクチン接種者も多くなっており、なんとかこのまま終息して欲しいものです。今月は小春日和の良い天気の日が続き、各家々、里芋や白菜などの野菜を収穫したり、雪囲いをしたりと冬支度が捗っているご様子。来月は師走、今年も残り1ヶ月となりました。やり残したことはありませんか？まだ、今なら間に合うかもです。

【晩秋の久斗山】 朝晩が冷え込んできました。空気が澄んでピーンと張りつめ、とても清々しく感じられます。ちょっとした高みから久斗山の集落を望むと、山々に囲まれ、久斗川流域のほんのささやかな土地に暮らす山里の慎ましい生活ぶりが垣間見えます。中心部は標高150m、それほど高い場所ではありませんが、北西に向けた谷と南側の山の影響で冬の北西の季節風がぶち当たり、「山雪」は勿論「浜雪」でも雪が降り積もる。今年は大雪の予報、冬支度を急ぎましょう。



西ノ谷の小山から久斗山の村を眼下に望む(11月14日)

【地域探訪、紅葉の本谷「創造の森」】



今月に入り、例年より遅れていた山の紅葉も一気に色付いてきました。17日(日)久斗山自然教室「地域探訪 紅葉の創造の森遠足」を開催しました。参加者は6人(子供4、大人2)とちょっと少なかったけど、好天に恵まれ、みんな元気に歩きました。午前9時に公民館に集合し、本谷集落まで車で移動しました。本谷では、旧久斗山小学校の冬期分校のあった場所や神社にお参りし、たたら遺跡や金屋子神について地域の歴史のお勉強も少ししました。そこから創造の森へ片道約1kmを歩きました。青空に映える紅葉の山々は美しく、澄んだ空気も爽やかで気持ちのいい遠足になりました。歩きながら赤や黄色、茶色の落葉やどんぐりを拾ったり、自然薯のムカゴを採取しました。創造の森に着くと、本谷の大滝に向けて谷に下りました。滝までの道は倒木や落石があり、かなり荒れていて、ちょっとした冒険気分でした。落差15mほどの滝は近づくにつれて迫力がありました。お昼は創造の森の広場で、お湯を沸かしてカップ麺を食べました。山で食べるカップ麺はひと味違い、美味しかった～ 帰りは途中まで尾根道を通りブナやタカノツメ、コナラなどの紅葉と落葉を踏みしめながら下山しました。一日、とても楽しい遠足でした。

【文化祭、多くのご来場有難うございました】

3日は「文化の日」、この日から8日まで「第17回新温泉町文化祭」が開催されました。

3日…舞台発表、夢ホール。

・出演27団体、来場774人

6日～8日…作品展示（浜坂会場）

・出品43団体、来場848人

開催期間中は好天に恵まれ、盛況でした。



【花いっぱい! すこやかクラブ】

花と緑の里づくり協議会よりお花が配布され、

17日に久斗山すこやかクラブの皆さん総出でプランターに植えました。この日は、朝8時半

から大杉神社の掃除も行われ、境内や石段に降り積もった落葉も綺麗に掃き清められました。プランターはふれあい会館の前に置かれ、シカ予防の網がかけてあります。



【久斗山～熊谷、法面の吹付工事中】

県道久斗山今岡線の熊谷側で、道路防災工事による法面の吹付工事（株）三島組が行われています。落石の多い道ですが、特にこの場所は以前から何度も土砂崩れがありました。工事が完成すれば安全に通れますが、工事中は通行注意！



【119、火の用心!】

「119」11月9日より1週間は「秋の火災予防週間」でした。冬に近づき、暖房に火を使うことが増える時期。この日の朝町内の消防団による消防自動車のパレードがありました。火事を出さないよう、火の元注意で火の用心！



【シカ、昨年よりさらに増加!】

冬を前にして野生動物、特にシカの活動が盛んになっています。3日、久斗谷から熊谷周辺の夜間調査をしました。一晩の目撃結果は、昨年は135頭だったのが、今年は185頭と大幅に増加しています。



○令和3年 12月の行事

5日(日) 「オリジナルリース作り」(9:00～12:00 上山高原エコミュージアム)

12日(日) 大杉神社しめ縄作り(8:00～ 久斗山ふれあいセンター) すこやかクラブ

18日(土) 久斗山自然教室「ツル籠づくりと里山探検」(9:00～14:00 久斗山地区公民館)

19日(日) 「朝市・感謝デー」(8:30～ 上山高原エコミュージアム)

31日(金) 大晦日



夢ホール
お笑いスーパーライブ

○とき:12月25日(土) 午後2時開演
(開場は午後1時から)

○ところ:夢ホール

○料金:高校生以上4,000円(全席指定)
中学生以下は3,000円
(※当日券は500円増し)

○チケット販売は11月29日より
販売場所:温泉公民館・浜坂公民館
加藤文太郎記念図書館
モノマネ等で活躍しているお笑いタレントの
ミラクルヒカルやコウメ太夫、NASUMI出演

【問合せ先】
温泉公民館 TEL0796-92-1870



葉はシカに食べられたが、花を咲かせたキチジョウソウ

今月の野草

キチジョウソウ

庭先の植木の下に、蘭に似た細長い葉の野草が増えていました。それが、先日、葉先をシカに食べられてしまいい、残念に思っていたら、健気に紫色の蕾をつけ、淡紫の花を咲かせました。

名前は吉祥草。由来は、この花が咲くと家に良いこと(吉祥)がおきるといふ中国の言い伝えによるから。来年は良いことがあるかな。

かっぴょろさん(第二話)

作、いっこう

女郎屋に売られたスエはまだ幼く、客を取ることにはありませんでしたが、姐さん方の給仕をさせられました。夕方になると頻りに男の客が訪れ、酒宴が繰り広げられるお座敷、そして夜が更けると男と女の床の営み、スエにとっては全く別世界でした。

スエは姐さんに言われたことを一生懸命覚え、仕えました。でも、中には意地悪な姐さんもいて、中々には意地悪な姐さんもいて、いじめられることも度々ありました。辛くてもスエは歯を食いしばり耐えました。でも、心の中では、村に帰りたい、母に会いたいと思いつつ生きていました。

五年の歳月が流れ、スエは美しい娘に成長しました。女郎屋ではスエの最初の客として、その町一番の金持ちの旦那に大金で生娘を捧げる算段をしていました。しかし、その旦那は毒蛙のように醜く、嫌なやつでした。

秋も深まったある日、スエは夜には旦那の座敷に呼ばれることになりました。昼間、スエは見張りの目をかすめてこっそり女郎屋を抜け出すと、以前、お使いの時に見かけた観音堂に入り、願ったのです。

観音様、あんな醜い男に抱かれるのは嫌ですが、それが運命なら仕方ありません。でも、それまでに、一度でもいいから村に帰り、母の顔を見て、母の胸に抱かれたい。

スエは一心にお願いしました。それを聞きつけた観音様は、スエの前に姿を現すと、こう告げたのです。

その願い、叶えてあげよう。ただし、母に会ったなら、ここに必ず帰ってくるのですよ。(つづく)